はりまいな

今治さくらいの物語
神輿囃子

獅子が引き出す　大輿　小輿　ア　ヨイヤナー　ヨイヤナー
四方固めて　渡御につく　ソラ　ヨーイヨイ　ヨイヤーナ
ハリワイナ　コリワイナ　ソラヨーイ　トセ

5 月 5 日、例大祭の朝。綱敷天満宮境内に長老が唄う神輿囃子が響き渡り、神輿の宮出しが行われる。この神輿囃子は江戸時代に流行した「伊勢音頭」が桜井の地に伝わったものとされる。「今治名物 桜井浜は 千本松原 白い浜」や「時化に流され 道真公が 衣干したる 衣干し岩」、「木地くり下地に 漆をかけて 蒔絵 沈金 技がある」など、22 番までの歌詞には、桜井の歴史や名勝がこめられている。祭りの日、神輿は一日かけて桜井を練り歩く。神輿を先導するトラックから神輿囃子が流れると、氏子が家からでて御花を渡し、 皁夫が神輿を練る。夕方の宮入りまで、桜井の町に響き渡るこの神輿囃子が例大祭を盛り上げる。

桜井地区地域水産業再生委員会 × 愛媛大学井口梓研究室